

◆「研究グループ紹介」の記事募集のお知らせ◆

本ニュースレターにおいて偶数月号に好評連載中の「研究グループ紹介」では、記事内でご紹介する研究グループを下記の要領で公募させていただくことになりました。皆様のご応募をお待ちしております。

公募対象：教育機関（大学及び高专）、および公的機関（国または地方自治体の所属機関）であり、原則として電気学会会員であることを条件といたします。

公募方法：電子メールにて、下記送付先に数行程度の紹介文を送付してください。

送付先(記事公募共通アドレス)： iaedit(at)iee.jp

掲載可否：産業応用部門編修広報委員会で審議の上、掲載の可否を連絡します。ただし、掲載原稿の著作権は学会に帰属し、文責は投稿者が負うものとします。

公募期間：随時受付いたします。

編集後記

月日の経つのも早いもので、今年も残り2ヶ月となりました。鍋料理が美味しい季節ですが、寒さが増してくると、インフルエンザの脅威も増してきますので、皆様におかれましては健康に気をつけてお過ごしください。

さて、今月のニュースレターでは、巻頭言として研究調査運営委員会の玉井委員長（東芝三菱電機産業システム(株)）にご執筆いただきました。

次に、平成22年に芝浦工業大学で開催される電気学会産業応用部門大会の開催案内を掲載しております。

資料コーナーでは、(株)東芝の川合弘敏氏に「我が国企業の戦略的な知財管理に向けた取り組み」についてご紹介頂きました。近年、知的財産戦略の転換により、大量の特許

出願・取得から質の高い特許権の取得への方針転換が行われている状況や海外出願の重要度が高くなってきている現状を解説していただきました。

その他、国際会議情報や、最近発行された合計26件の技術報告、2つの調査専門委員会からの公募につきましても、ご紹介させていただいております。

また、産業応用部門誌 平成23年4月号にて特集を企画しております「多次元センシング技術とその産業応用」について、論文募集のご案内も掲載しております。たくさんのご応募をお待ちしております。

最後になりましたが、ご多忙中にもかかわらず、記事をご執筆いただいた皆様、ならびに編集作業に携わっていただいた多くの皆様に厚く御礼申し上げます。

エディタ 久恒 正希 (安川電機)

※ 本文中のE-mailアドレスをご利用になる場合には、“(at)”を“@”に置き換えて下さい。